

mRNA COVID-19 ワクチン接種と手術時期について(5月18日修正版)

公益社団法人日本麻酔科学会
理事長 小板橋俊哉
COVID-19 対策特別委員会

予防接種と全身麻酔施行までの期間について、Royal College of Surgeons of England(RCS)からの情報を以下に紹介する。RCS では数日と記載されており、ワクチン自体の安全性からの意見と思われる。RCS としては、ワクチン自体が生ワクチンや不活化ワクチンと異なり、mRNA ワクチン自体で COVID-19 を起こすことがないので、むしろ接種 2、3 日後に起こることの多い発熱など副反応と術後の炎症等との鑑別をすすめるために、その期間(数日)を避けるという意味であると推測する。

重要なことは、明確なエビデンスに基づいたものではないことであり、施設の感染対策部門および手術チームで検討し、院内で共通認識をもって臨むことを推奨する。なお、今後、厚労省からの見解が出た場合や mRNA 以外のワクチンの場合には、変更する可能性があることをご理解いただきたい。

●Royal College of Surgeons of England

手術とコロナワクチン接種について

患者の手術を計画するとき

- ・ワクチン接種の状況に関係なく、必須の緊急手術を行う必要がある。
- ・緊急でない待機手術は、ワクチン接種後すぐに行うことができる。手術日とワクチン接種を数日間(最大で1週間)空けると、術後の発熱などの症状の原因がワクチン接種か手術自体の結果かどうかを区別できる。

(For surgeons and surgical teams treating patients during COVID-19 – endorsement of the Academy statement. 22 January 2021

<https://www.rcseng.ac.uk/coronavirus/vaccinated-patients-guidance/>)

●米国疾病予防管理センター(CDC)

・医療処置とワクチン

5月12日に更新された情報によると、ワクチン接種前後の手術について明確な基準は示されていない。

(<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/vaccines/expect/other-procedures.html>)

・他のワクチンとの同時接種

5月14日に更新された情報によると、COVID-19と他のワクチンを接種してもよい。

(<https://www.cdc.gov/vaccines/hcp/acip-recs/general-recs/immunocompetence.html>)